

ホームページをご活用ください

LINE公式アカウント始めました



十勝教育研究所

糸山 千葉

ホームページをご活用ください



令和7年度

十勝教育研修センター 研修講座44

「授業づくりII（連携事業）」

～特別活動を中心にした情報モラルの授業づくり～

令和7年7月30日（水）

十勝教育研究所 紉山 千葉



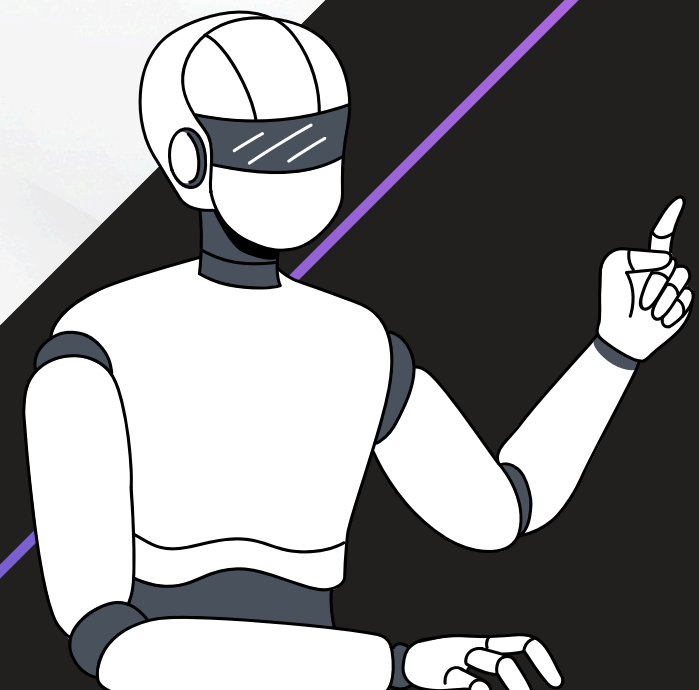
Contents

01 講師紹介・自己紹介

02 午前1：研究内容について説明

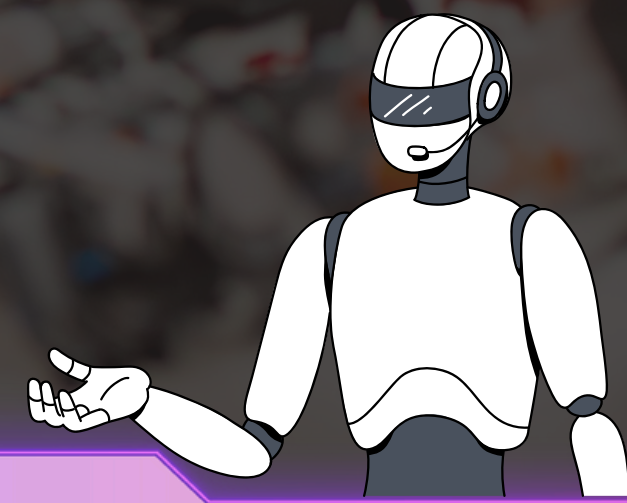
03 午前2：授業動画視聴・質疑応答

04 午後：授業づくり・まとめ



01

令和6年度 協力員研究





令和6年度
十勝教育研究所

協力員研究



担当所員
粂山 千葉

修斗
直哉



十勝教育研究所
協力員研究

I 研究の概要

II 授業実践の紹介

III 研究の成果と課題

IV 協議について



1 研究主題

他者を尊重し、 責任をもって行動する子どもを育む研究

～日常モラルを生かした学習内容と
一人一人が意思決定する学習展開の工夫を通して～

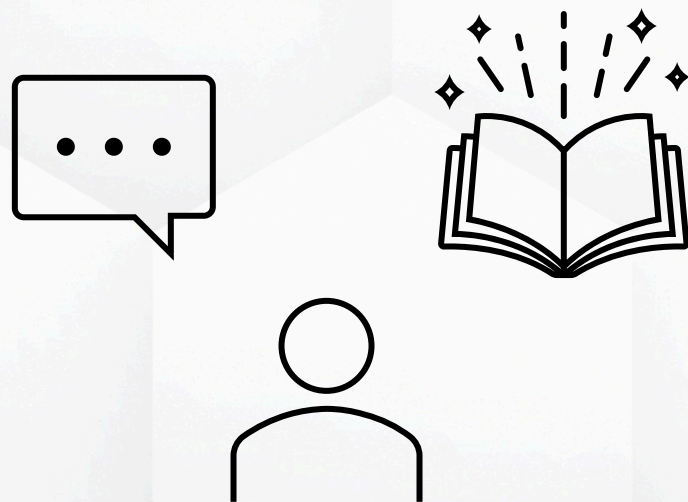
(2か年継続研究 1年次)



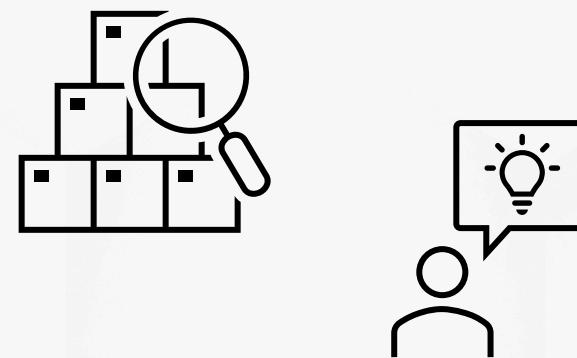
2 主題設定の理由 [今日的な課題 学習指導要領等から]

学習の基盤となる資質・能力の育成

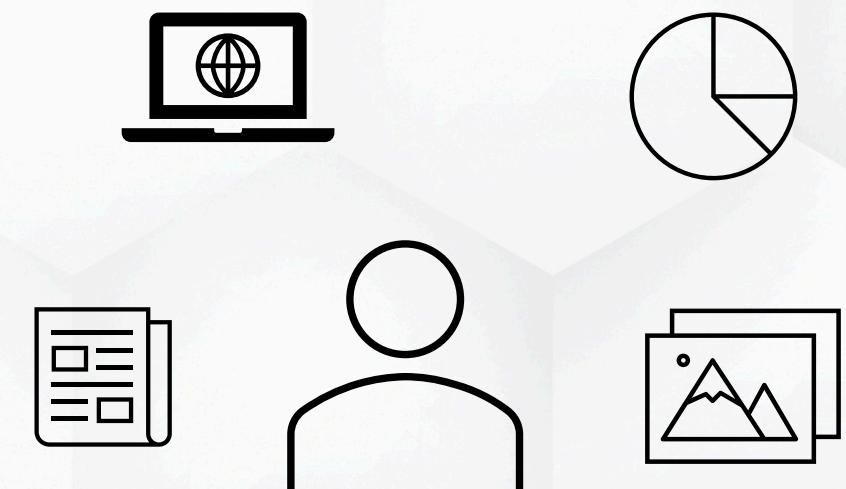
言語能力



問題発見・
解決能力



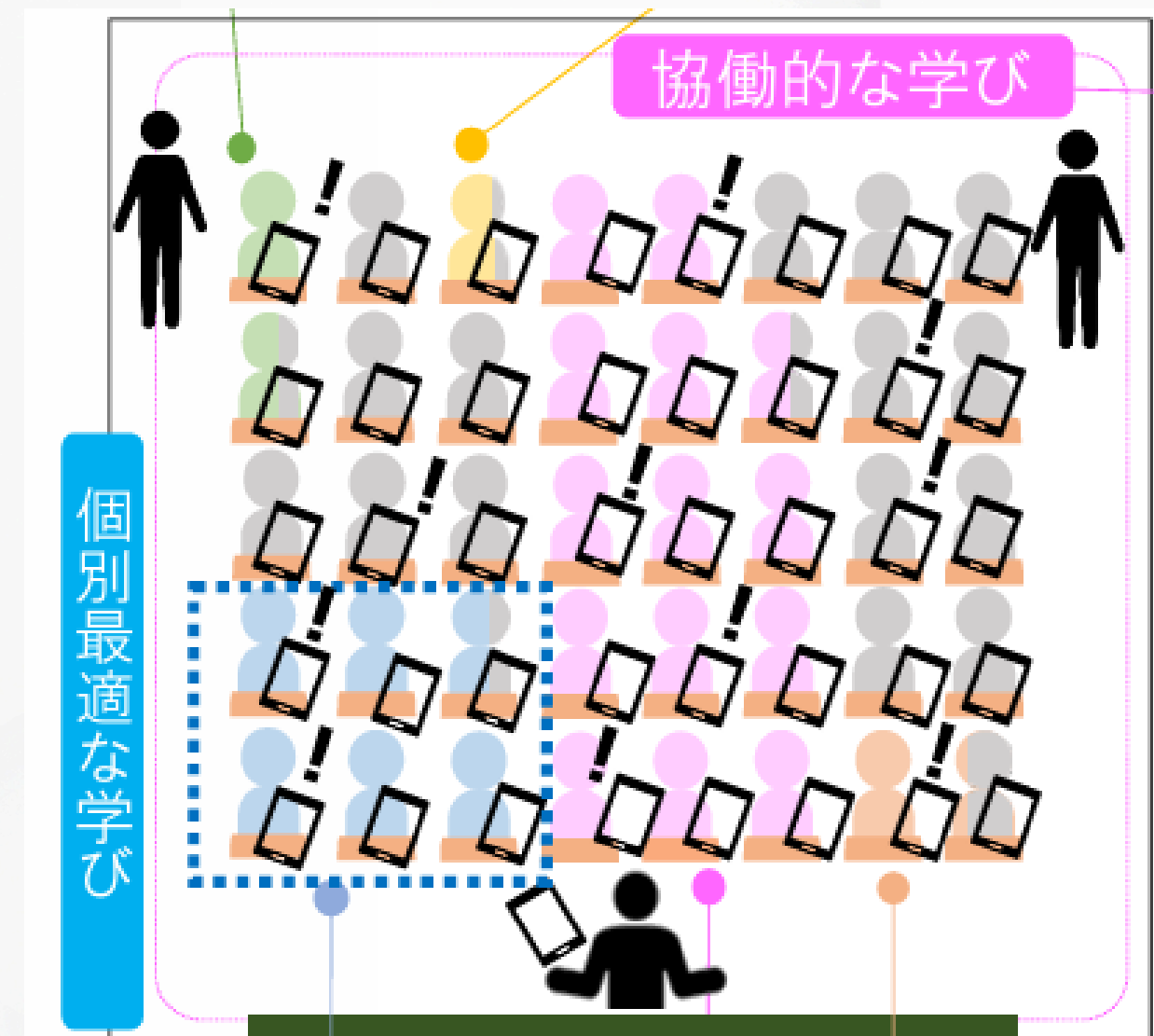
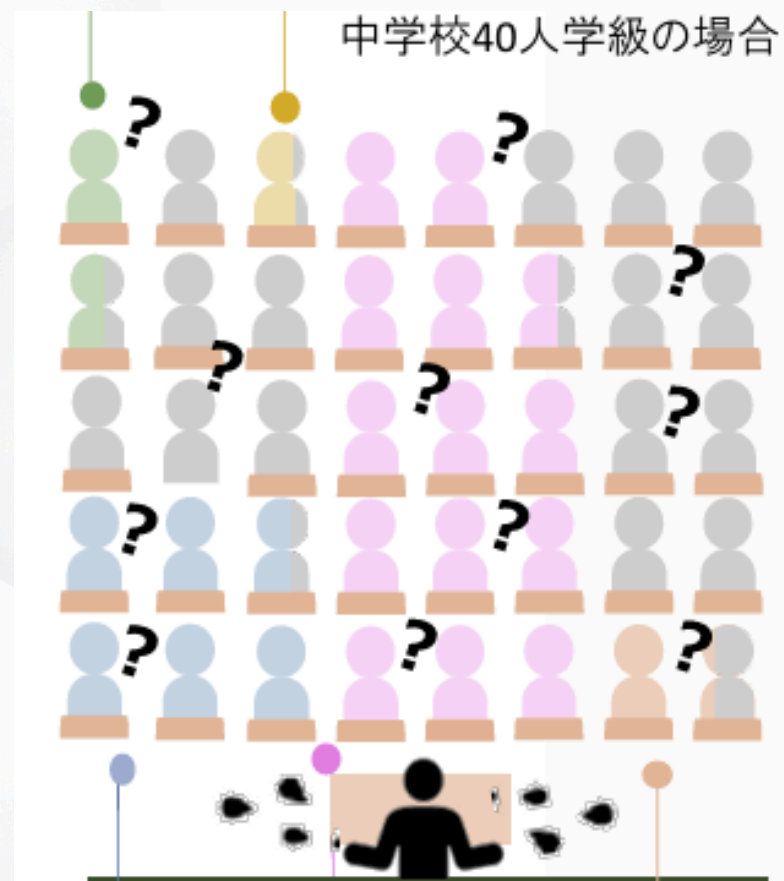
情報活用能力
(情報モラルを含む。)



2 主題設定の理由 [今日的な課題 学習指導要領等から]

📄 内閣府「Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関するパッケージ」

→一人一人の多様な幸せ（Well-being）の実現のため



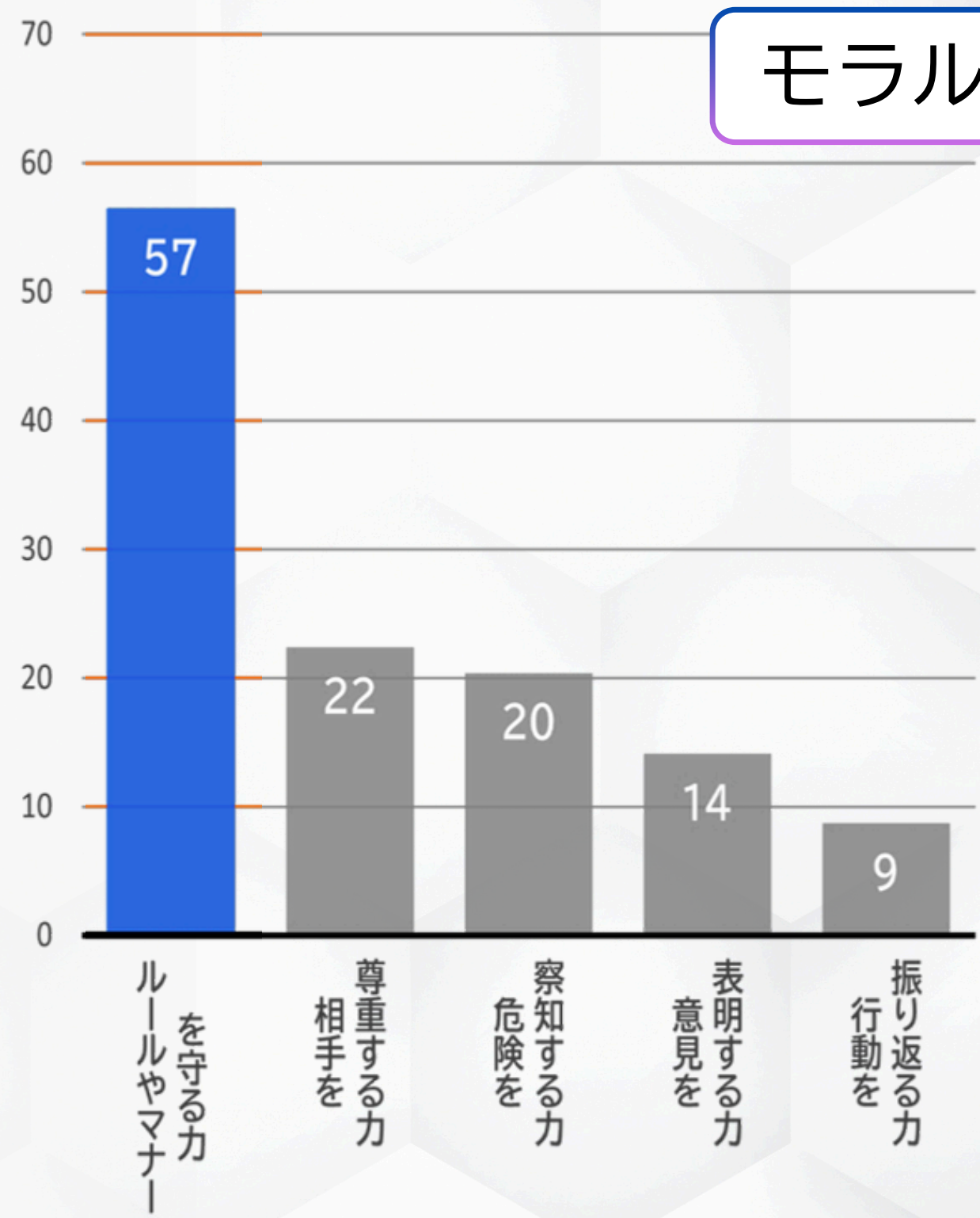
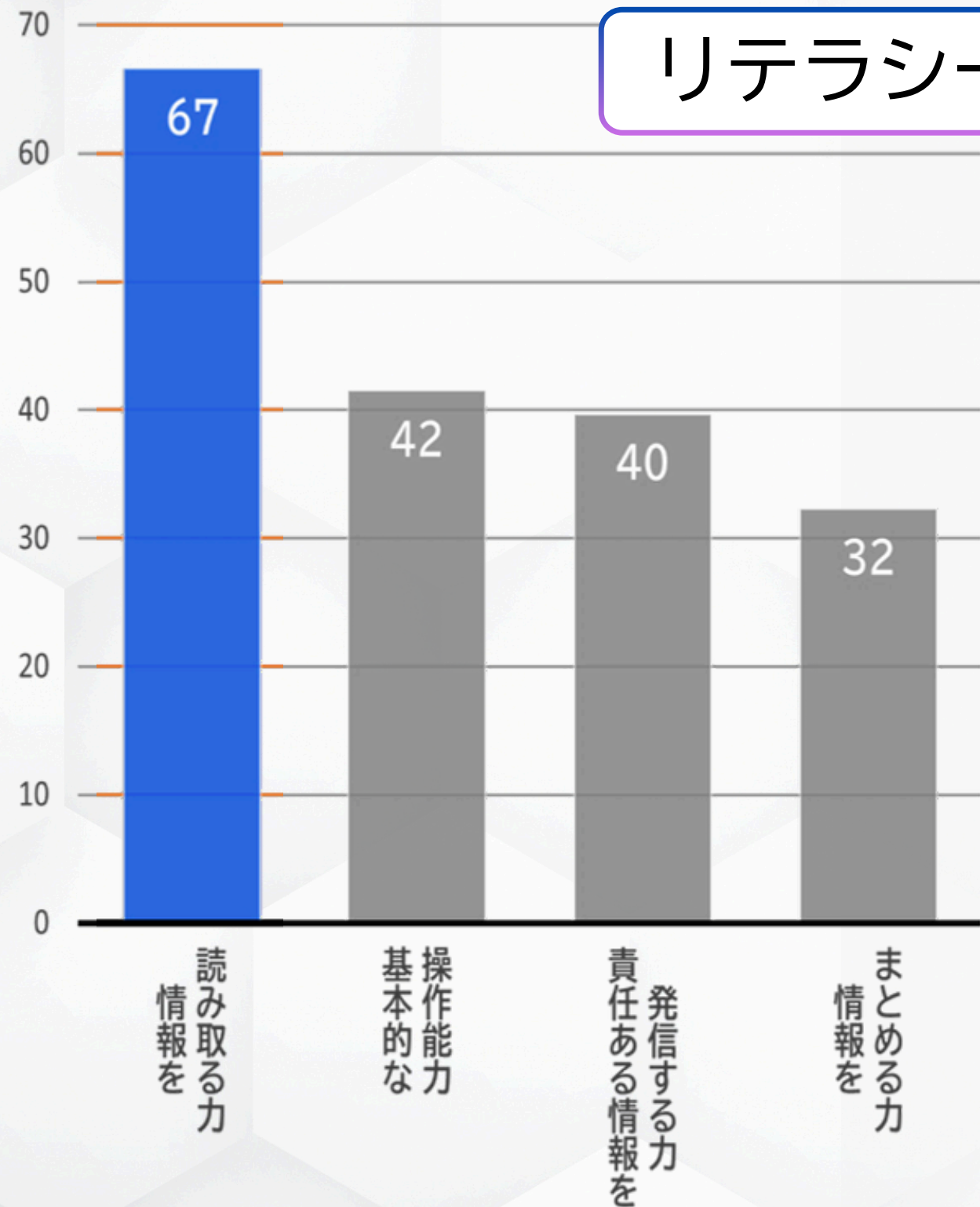


2

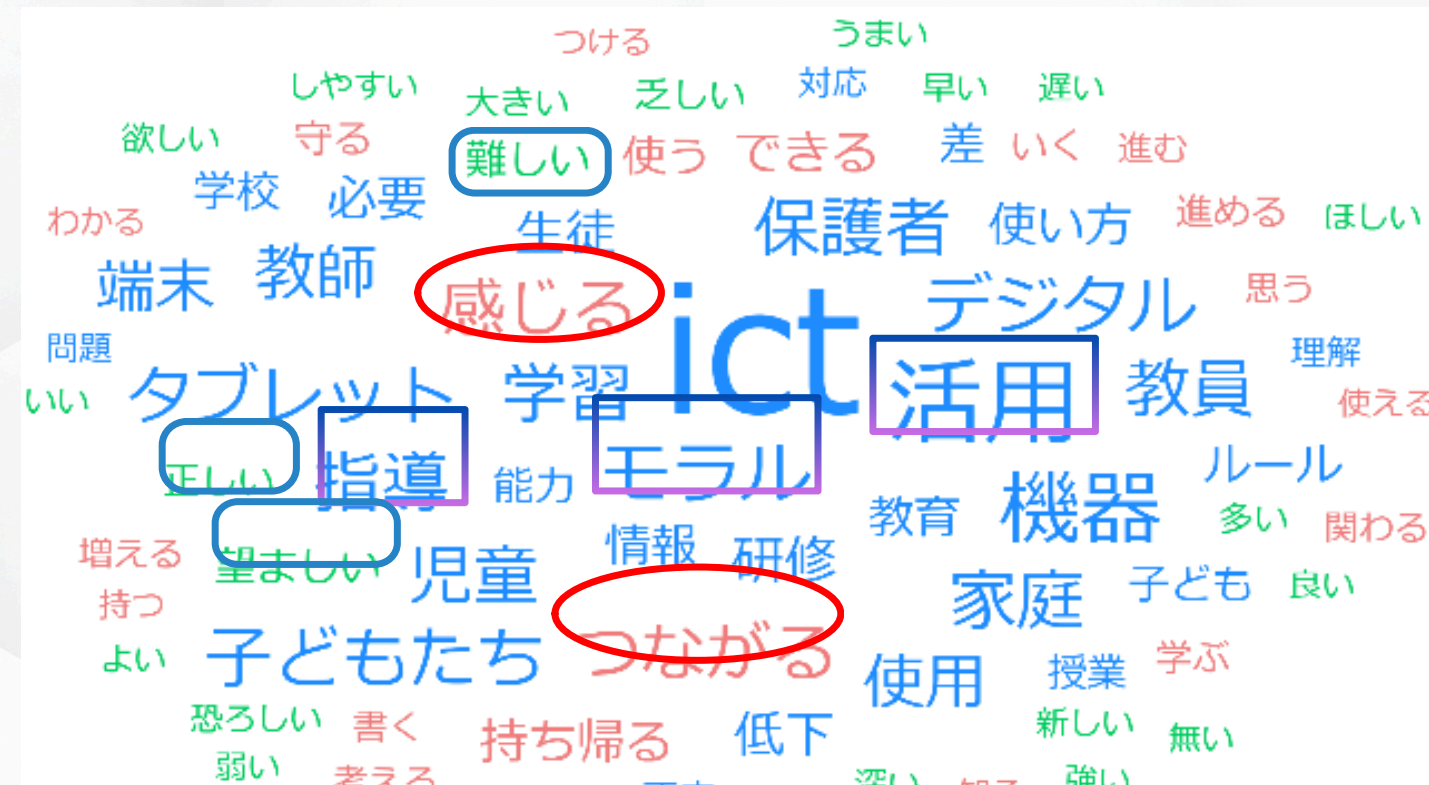
主題設定の理由

広報誌「数字で見る十勝の教育」アンケートより

「デジタル化が急速に進む中で、どのような力をつけることが必要と感じているか」



アンケート結果のテキストマイニング・記述内容のAI要約より



ICTの活用は重要だが、一方で教師の指導力や保護者の理解、情報モラルの教育など、課題も多い。子どもたちの視力低下や健康への影響、情報の信頼性や適切な使い方の指導、機器の更新やトラブルへの対応などに不安がある。...中略... ICTの活用はバランスが重要であり、情報モラルやモラル教育の重要性も強調されている。...

解決の難しさ

他者意識 関わり方への必要感

情報モラルの育成に関する
課題や教師がもつ不安



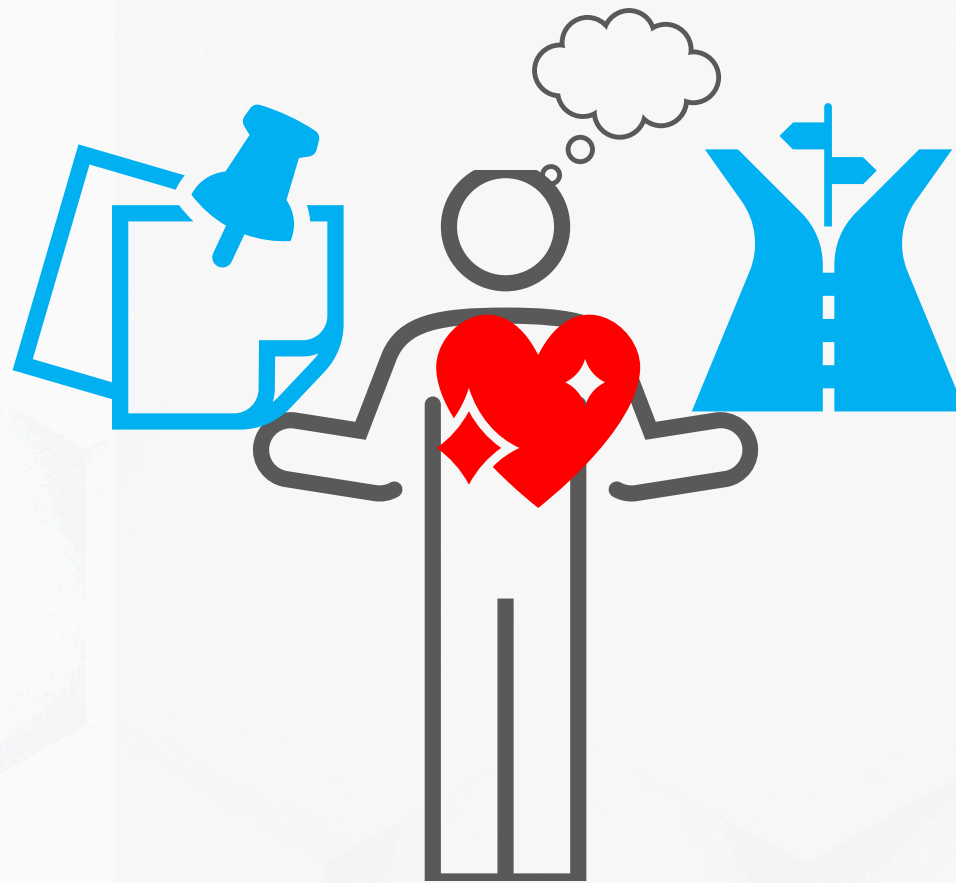
2 主題設定の理由

デジタル世界の特徴

画面の向こうにも人



文字でのやり取り



他者の存在を意識
(日常のモラル)

→ 他者を尊重する態度

情報の整理、分析、判断
→ 責任をもった行動



3 研究の仮説

研究の仮説

特別活動において、日常モラルを生かした学習内容と
一人一人が意思決定する学習展開の工夫を通して、
他者を尊重し、責任をもって行動する子どもが育まれるであろう。



3 研究1年次の構造図

他者を尊重し、責任をもって行動する子ども

研究内容1
日常モラルを生かした
学習内容の工夫

- ① 事前アンケートの活用
- ② 情報技術の仕組みの理解

情報活用能力
(情報モラルを含む。)

研究内容2
一人一人が意思決定する
学習展開の工夫

- ① 行動の選択肢の議論
- ② 前向きな対処法の追求



3 研究1年次の構造図

他者を尊重し、責任をもって行動する子ども

研究内容1
日常モラルを生かした
学習内容の工夫

- ① 事前アンケートの活用
- ② 情報技術の仕組みの理解

情報活用能力
(情報モラルを含む。)

研究内容2
一人一人が意思決定する
学習展開の工夫

- ① 行動の選択肢の議論
- ② 前向きな対処法の追求



3 研究1年次の構造図

他者を尊重し、責任をもって行動する子ども

研究内容1
日常モラルを生かした
学習内容の工夫

- ① 事前アンケートの活用
- ② 情報技術の仕組みの理解

情報活用能力
(情報モラルを含む。)

研究内容2
一人一人が意思決定する
学習展開の工夫

- ① 行動の選択肢の議論
- ② 前向きな対処法の追求

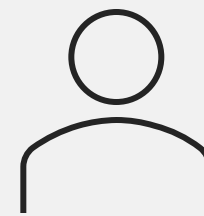
1 研究の視点 (1) 本研究における子ども像

⑧ 他者を尊重し、

多様な他者を理解

相手の意見を聴く

考えを正確に伝える



他者を尊重し、
責任をもって
行動する子ども

⑨ 責任をもって行動する

自らを律する

振り返る能力を身に付ける

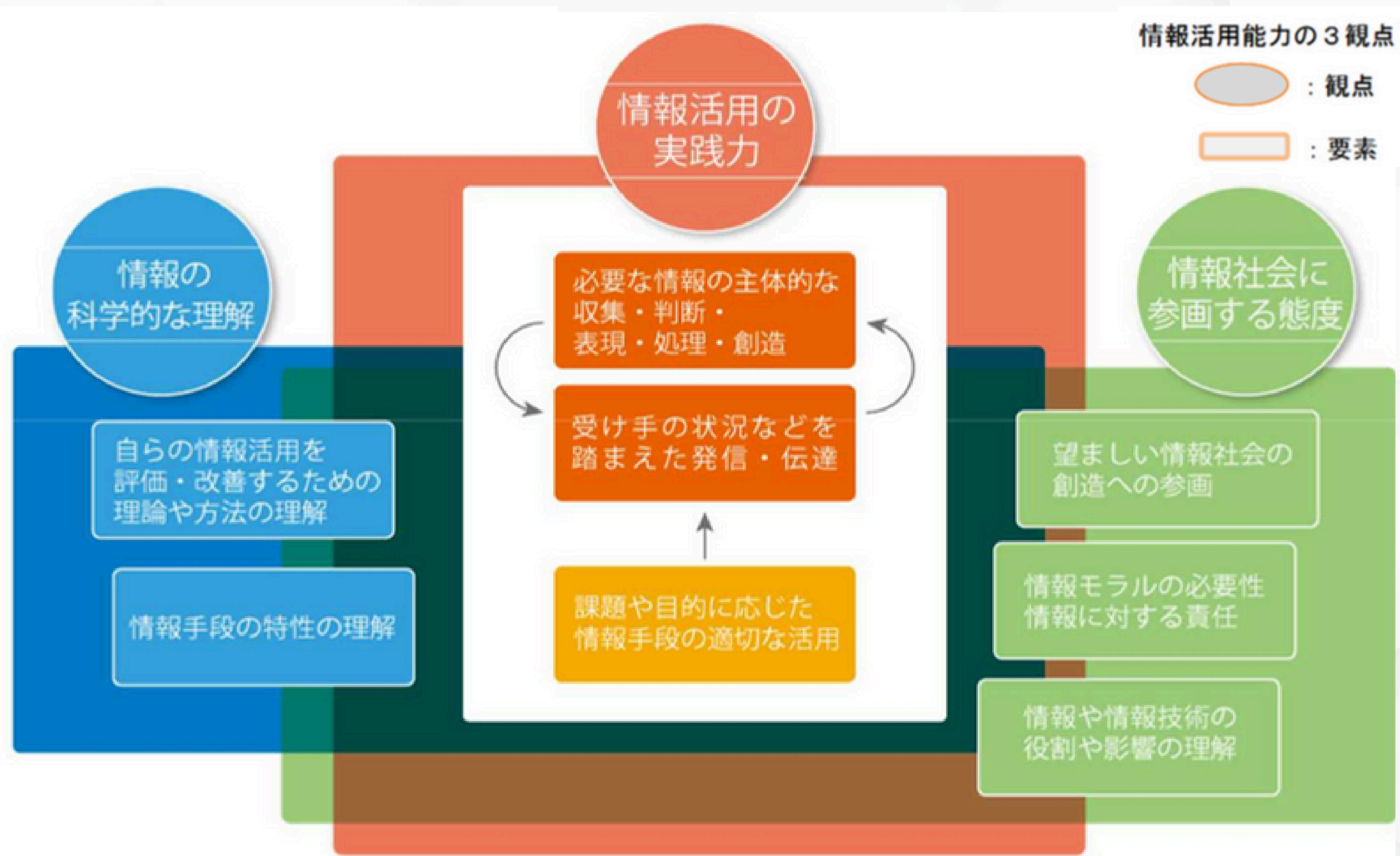
よりよい行動を考えることができる



1 研究の視点

(2) 情報活用能力

情報及び情報手段を主体的に選択し、活用していくための個人の基礎的資質



1 研究の視点 (3) 情報モラル教育

情報モラルとは	情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度			であり、
具体的には	他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつこと	犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること	コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解すること	などである。
このため、	情報発信による他人や社会への影響について考えさせる学習活動			などを通じて、児童に情報モラルを確実に身に付けさせるようにすることが必要である。
	ネットワーク上のルールやマナーを守ることの意味について考えさせる学習活動			
	情報には自他の権利があることを考えさせる学習活動			
	情報には誤ったものや危険なものがあることを考えさせる学習活動			
	健康を害するような行動について考えさせる学習活動			
その際	情報の収集、判断、処理、発信など情報を活用する各場面での情報モラルについて学習させることが重要である。			
また、	情報技術やサービスの変化、児童のインターネットの使い方の変化に伴い、学校や教師はその実態や影響に係る最新の情報の入手に努め、それに基づいた適切な指導に配慮することが必要である。			
併せて	児童の発達の段階に応じて、例えば、インターネット上に発信された情報は基本的には広く公開される可能性がある、どこかに記録が残る完全には消し去ることはできないといった、情報や情報技術の特性についての理解に基づく情報モラルを身に付けさせ、将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応できるようにすることが重要である。			
さらに	情報モラルに関する指導は、道徳科や特別活動のみで実施するものではなく、各教科等との連携や、さらに生徒指導との連携も図りながら実施することが重要である。			

1 研究の視点 (3) 情報モラル教育

情報モラルとは	情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度			であり、
具体的には	他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつこと	犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること	コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解すること	などである

情報モラルとは	情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度
---------	----------------------------

情報には自他の権利があることを考えさせる学習活動		児童に情報モラルを確実身に付けさせ	
具体的には	他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつこと	犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること	コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解すること

また、	情報技術やサービスの変化、児童のインターネットの使い方の変化に伴い、学校や教師はその実態や影響に係る最新の情報の入手に努め、それに基づいた適切な指導に配慮することが必要である。
併せて	児童の発達の段階に応じて、例えば、インターネット上に発信された情報は基本的には広く公開される可能性がある、どこかに記録が残り完全に消し去ることはできないといった、情報や情報技術の特性についての理解に基づく情報モラルを身に付けさせ、将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応できるようにすることが重要である。
さらに	情報モラルに関する指導は、道徳科や特別活動のみで実施するものではなく、各教科等との連携や、さらに生徒指導との連携も図りながら実施することが重要である。



1 研究の視点 情報モラルの判断に必要な要素

「心」

日常モラル

節度



思いやり・礼儀



正義・規範



思慮



情報技術の仕組み 「知」

機器やサービスの特性

心理的・身体的特性

インターネットの特性





十勝教育研究所
協力員研究

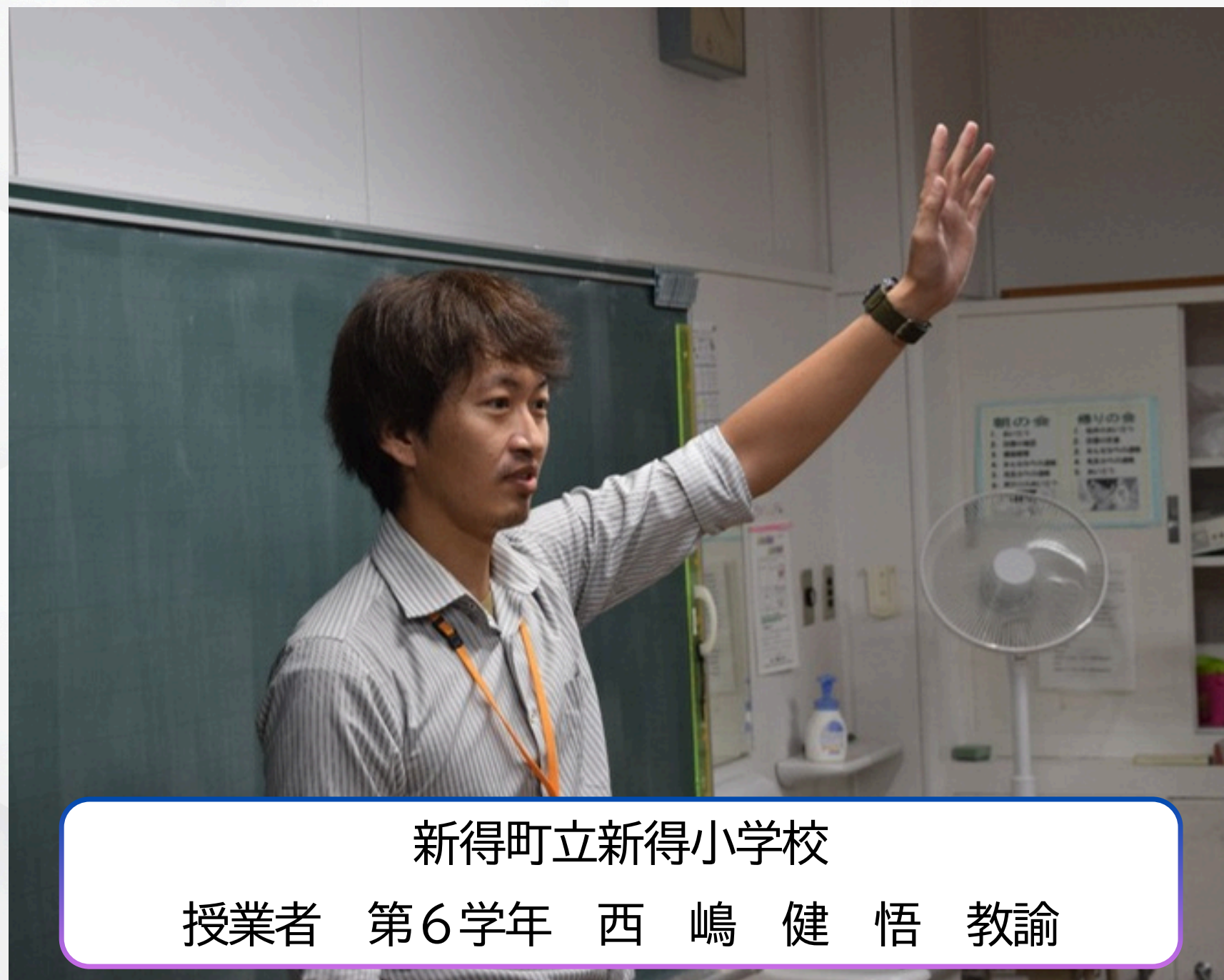
I 研究の概要

II 授業実践・検証 

III 研究の成果と課題

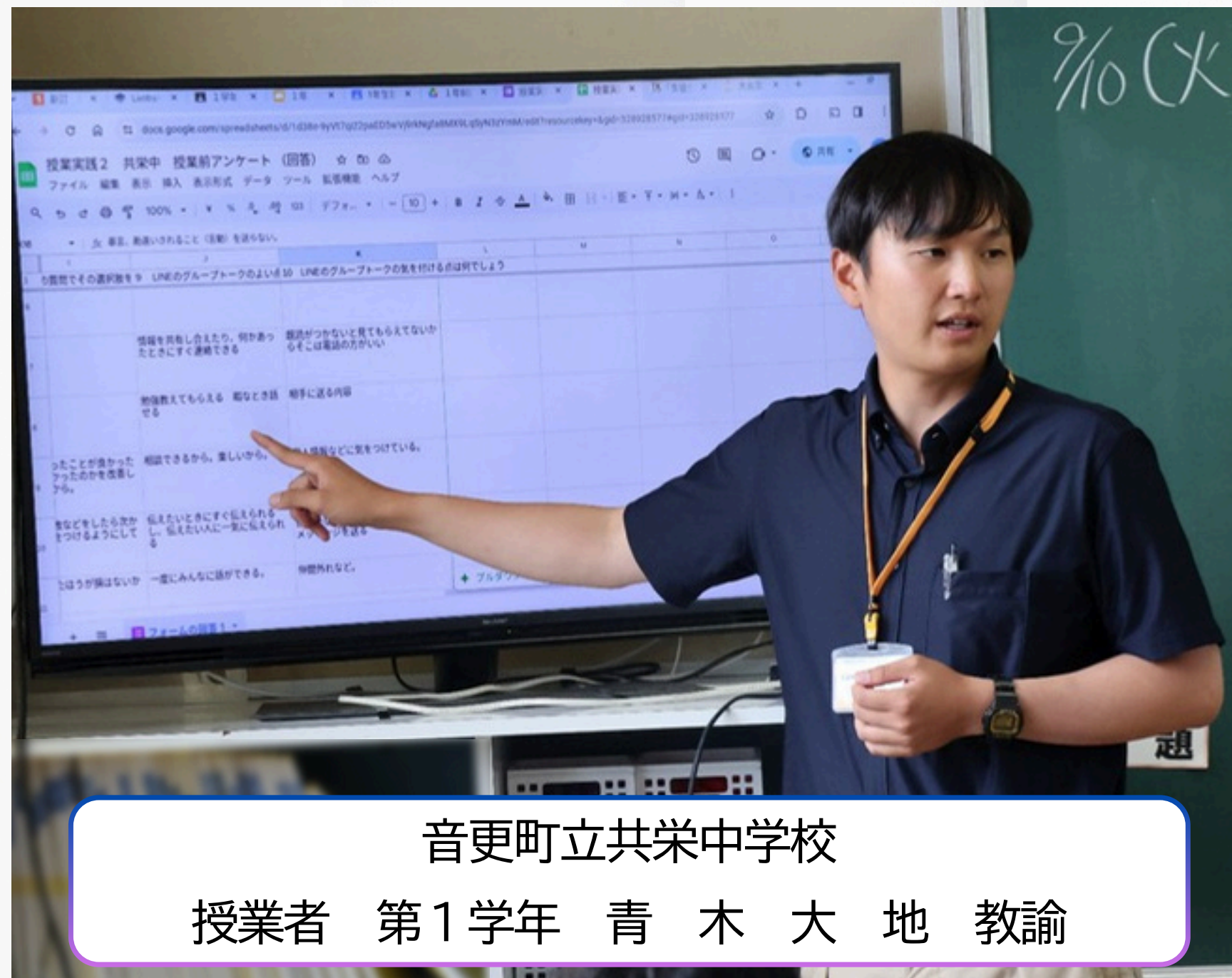
IV 協議について

1 研究協力校



新得町立新得小学校

授業者 第6学年 西 嶋 健 悟 教諭



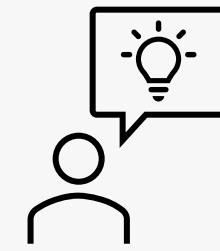
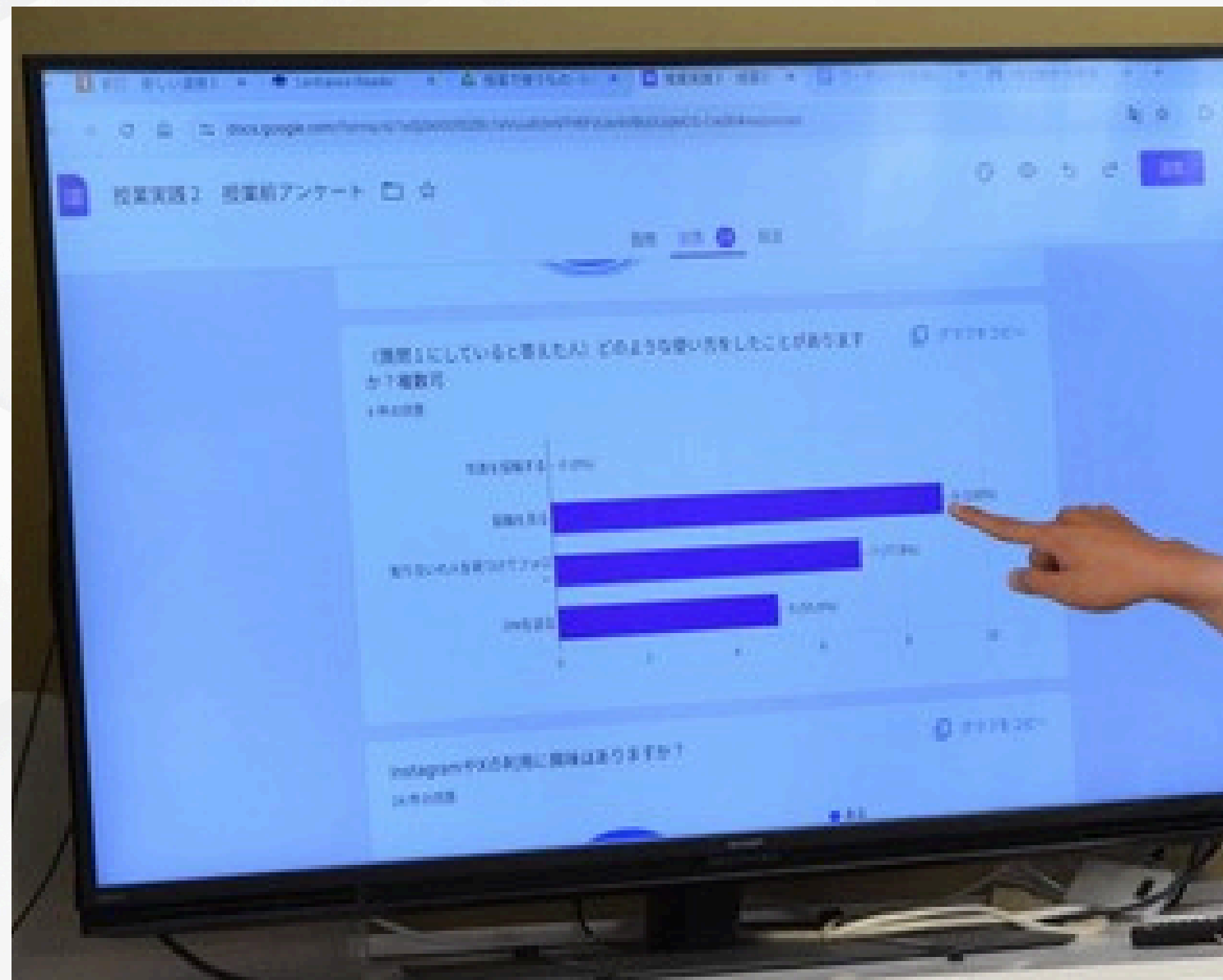
音更町立共栄中学校

授業者 第1学年 青 木 大 地 教諭

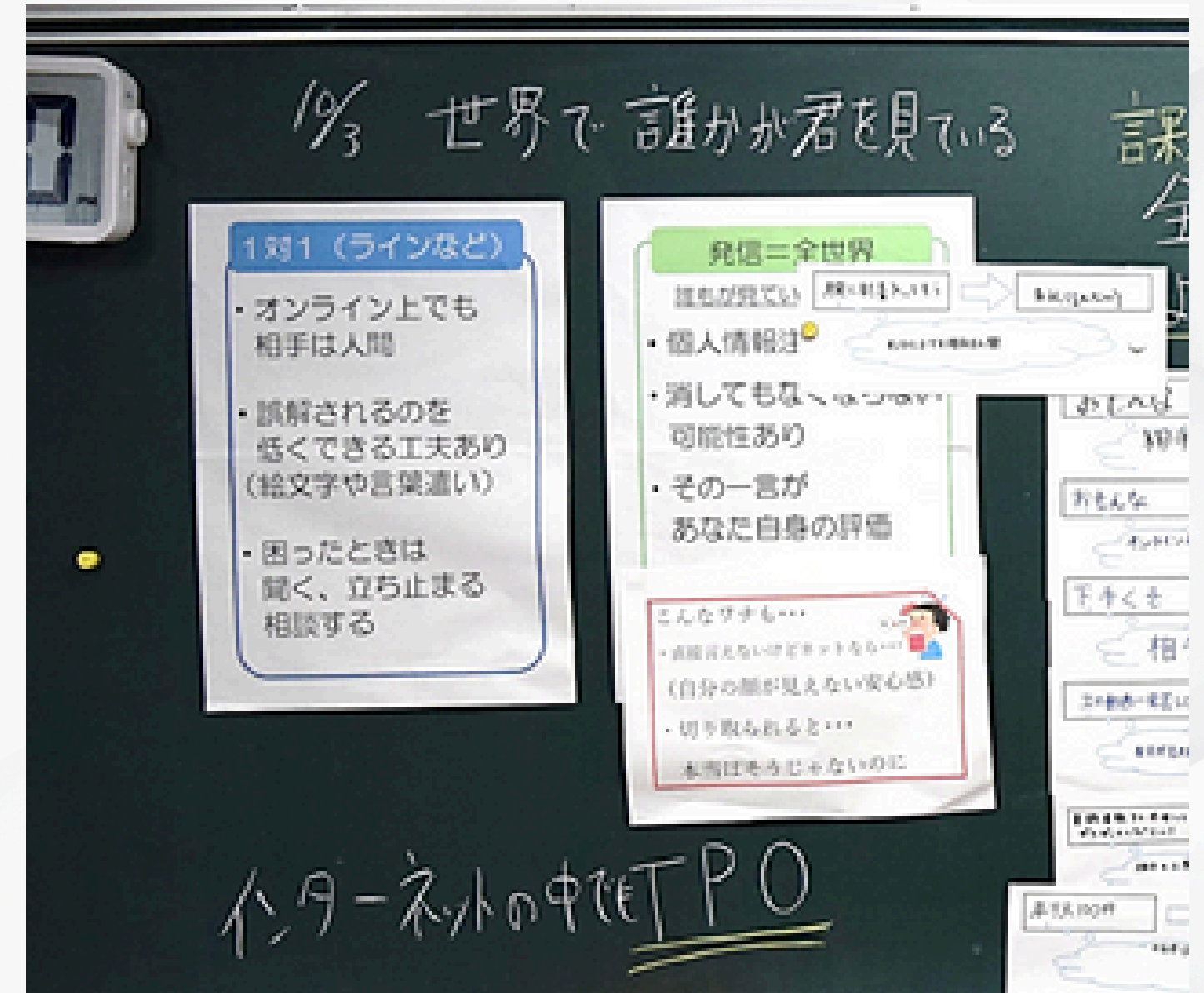
2 研究の内容 (1) 日常モラルを生かした学習内容の工夫



事前アンケートの活用



情報技術の仕組みの理解



2 研究の内容

(2) 一人一人が意思決定する学習展開の工夫

💬 行動の選択肢の議論



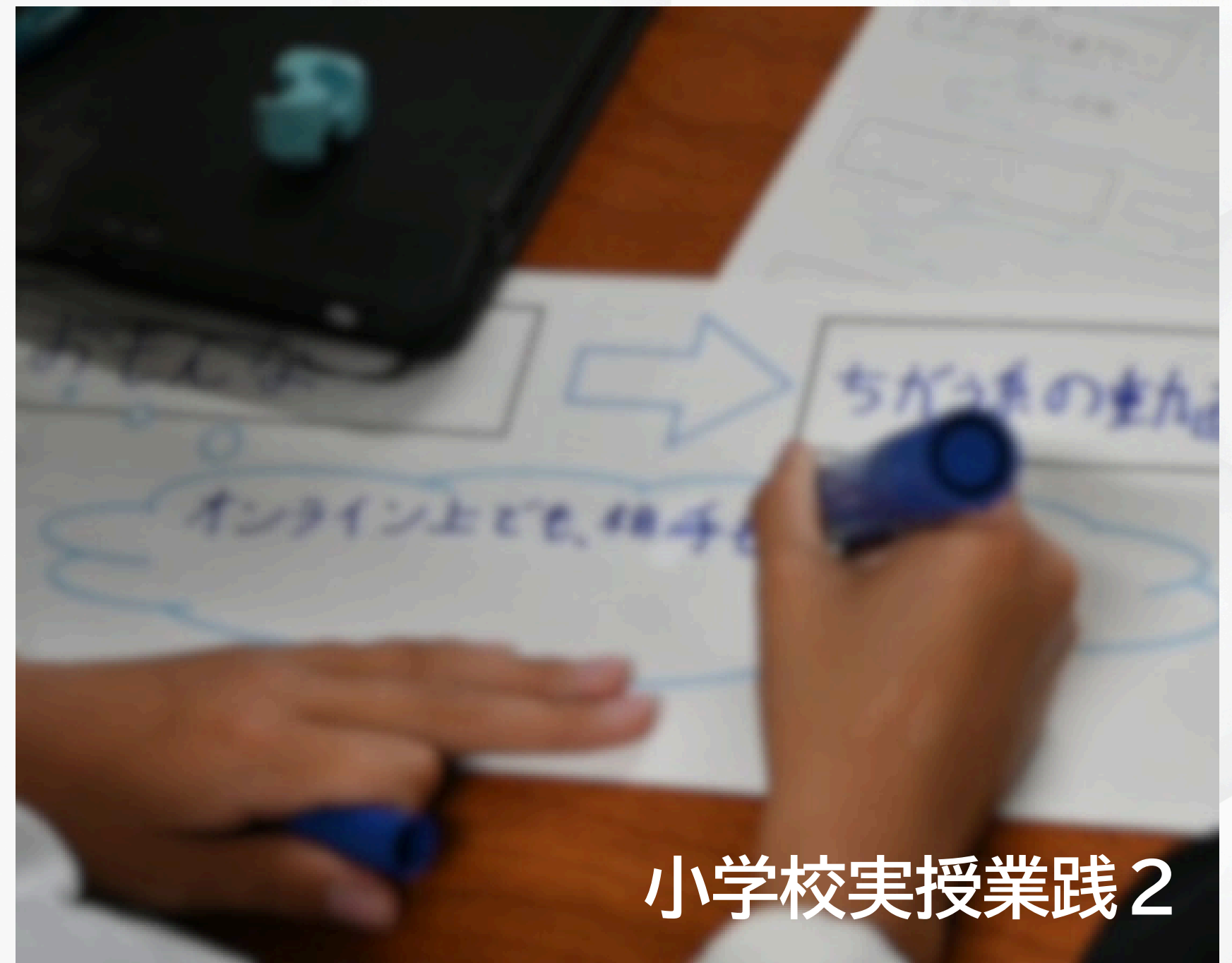
💡 前向きな対処法の追求



4 小学校授業実践 行動の選択肢の議論におけるアクティビティ



小学校実授業践 1

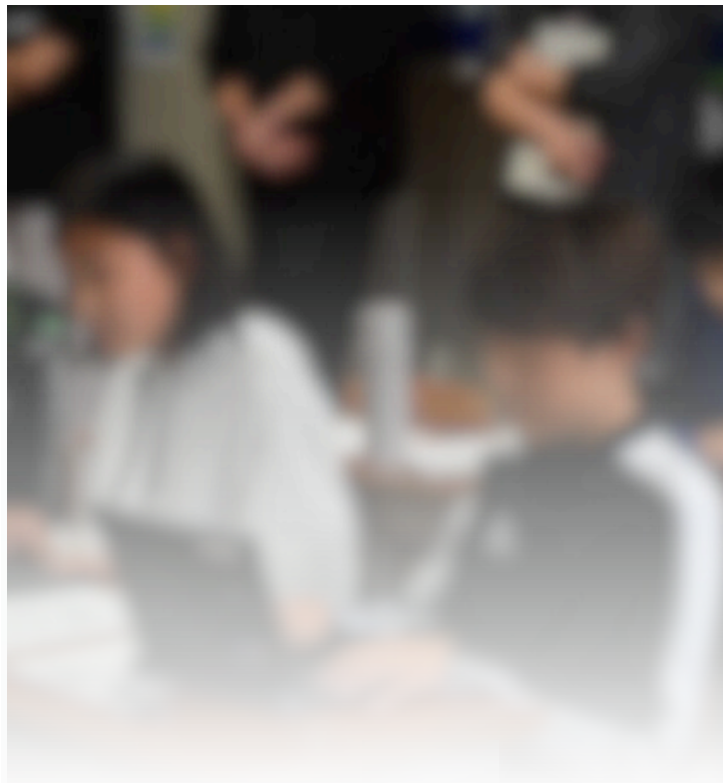


小学校実授業践 2

この後ご覧いただきます

3 検証方法

記述・インタビュー
からの見取り



アンケート内容
からの見取り

事後アンケート

B I U G X

学活の授業に関わってのアンケートです。普段の生活
記述するところがありますので、できるだけ詳しく記

1 普段の生活の中で、友達の意見や考えをし

- ☐ よく聴いている
- ☐ まあまあ聴いている
- ☐ あまり聴いていない
- ☐ 聴いていない

子どもの姿
からの見取り





5 研究内容の検証

授業後のインタビューより

Q オンラインコミュニケーションが題材でしたが、学習してみてどうでしたか？

思っていたより気を付けなければいけないことがたくさんあるなと思いました。
ふだん友達と話すときも相手のことを考えて伝えたいです。



Q 今日学んだことをこれからの生活にどのように生かしていきたいですか？



インターネットだけではなく、ふだんの生活でも相手に失礼にならないように言葉を伝えたり気を付けて話したりしたいです。



5 研究内容の検証

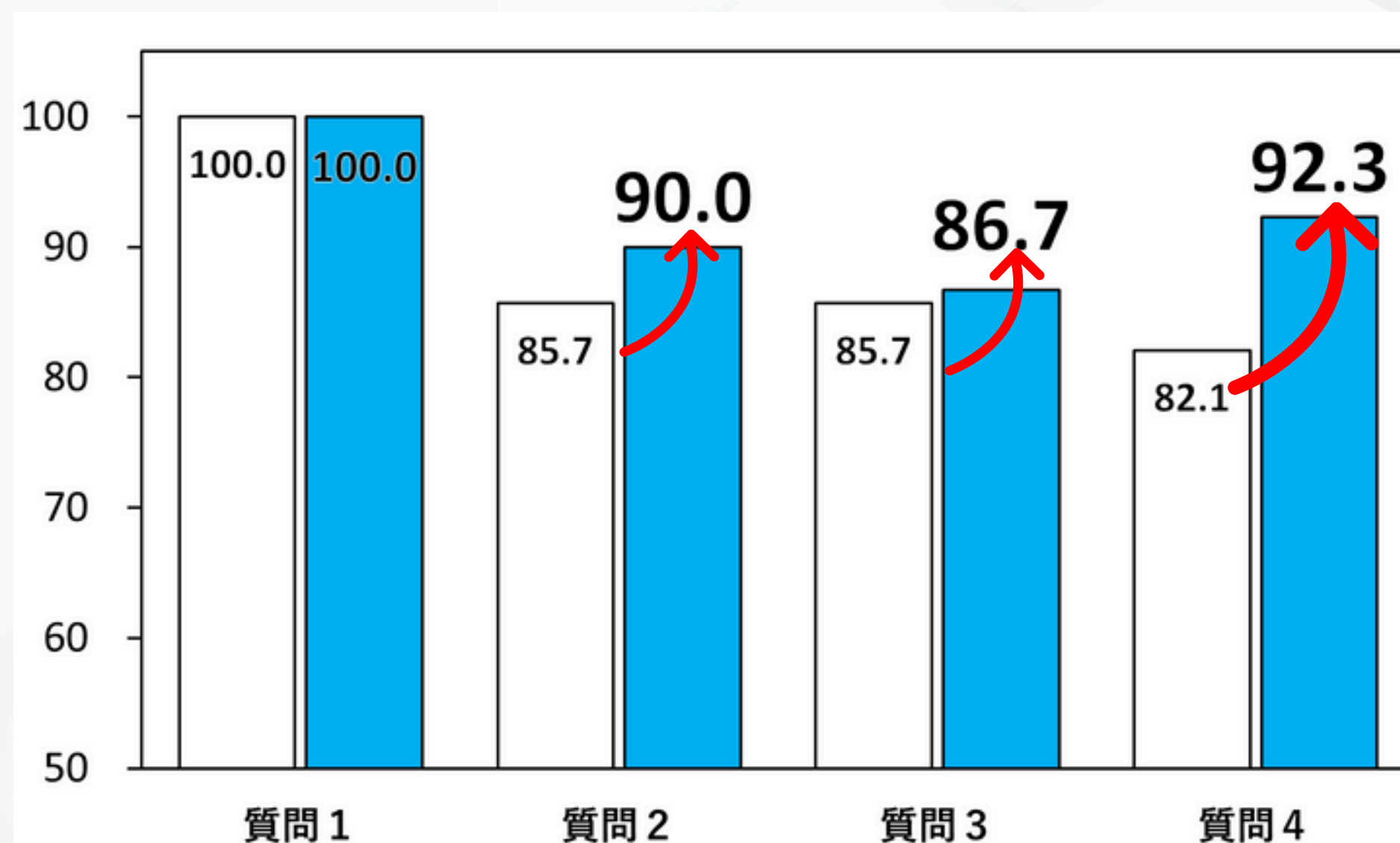
アンケート結果より



アンケート項目

- 1 普段の生活の中で、友達の意見や考えをしっかりと聴いている
- 2 普段の生活の中で、自分の意見や考えをしっかりと伝えている
- 3 普段の生活の中で、自分の行動を振り返っている
- 4 自分の行動を振り返って、次に生かしていますか。

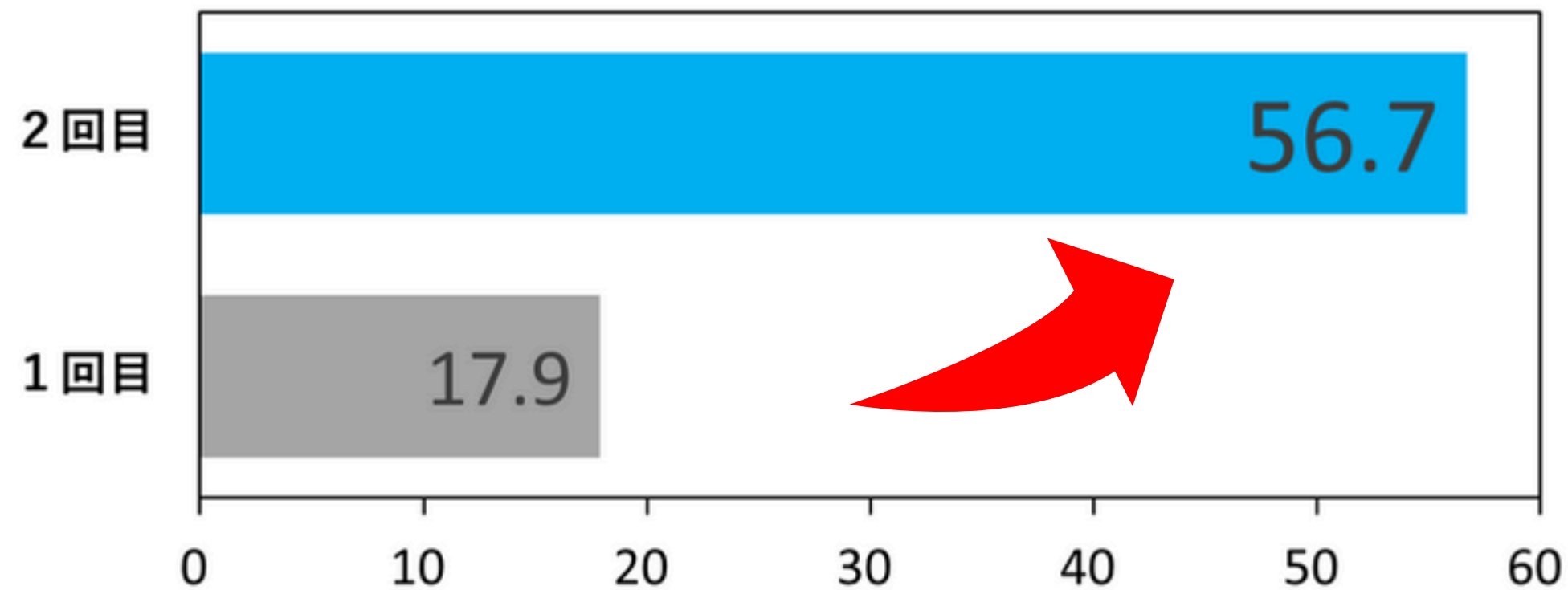
肯定的回答（当てはまる・よく当てはまる）の割合





5 研究内容の検証 アンケート結果・子どもの姿より

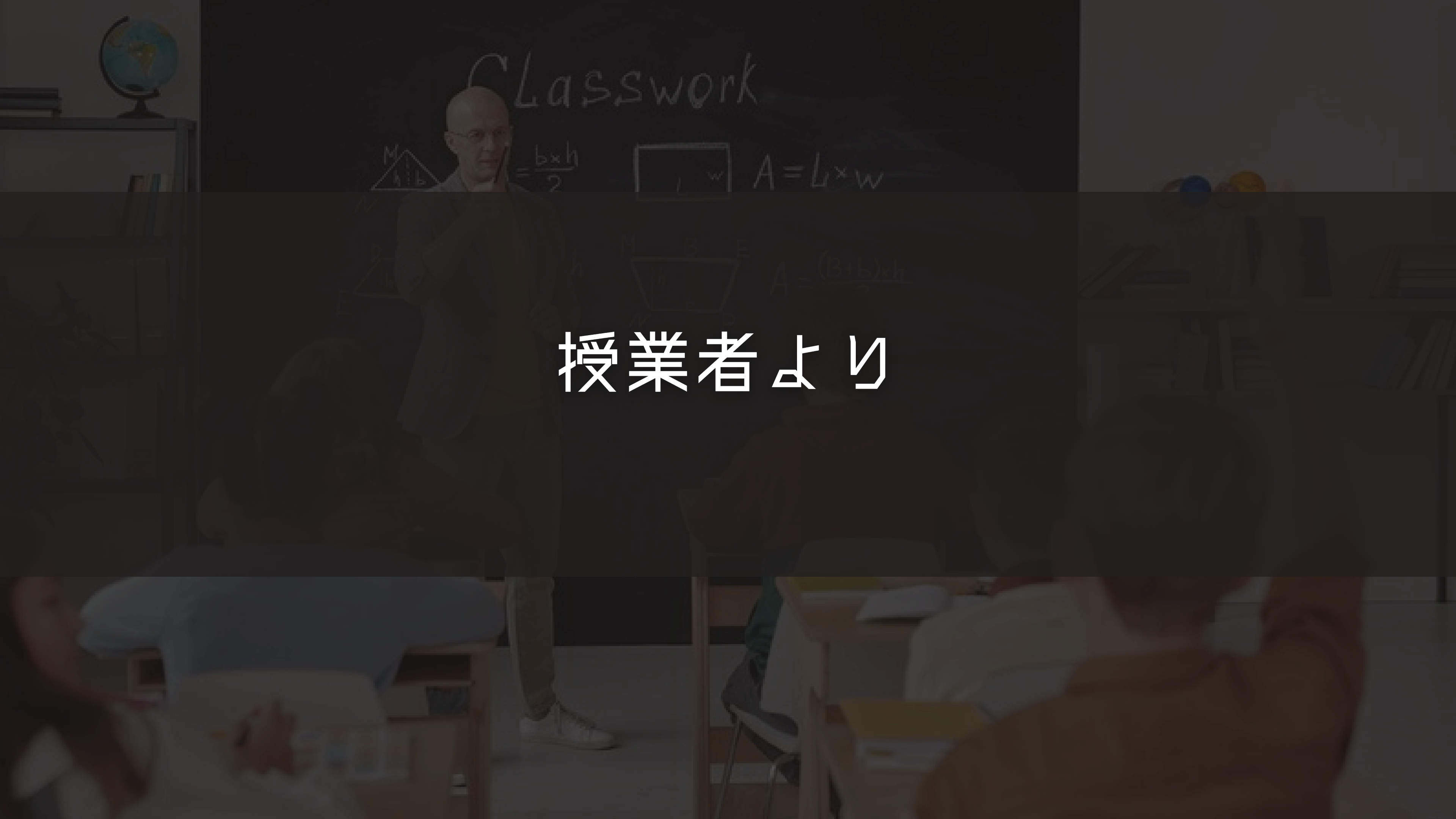
小学校第6学年質問1「普段の生活の中で、友達の意見や考えをしっかりと聴いている」に対して、「よく当てはまる」と回答した子どもの割合



休み時間

行事の計画

ふだんの生活

A photograph of a classroom scene, dimly lit and overlaid with a dark grey semi-transparent layer. In the center, a male teacher with glasses and a grey suit stands facing the camera. Behind him is a large chalkboard filled with handwritten mathematical formulas and diagrams. The word "Classwork" is written at the top. Below it, from left to right, are: a triangle with height 'h' and base 'b' and area formula $A = \frac{b \times h}{2}$; a rectangle with length 'l' and width 'w' and area formula $A = l \times w$; and a trapezoid with top base 'B', bottom base 'b', and height 'h' and area formula $A = \frac{(B+b) \times h}{2}$. To the left of the teacher is a bookshelf with a globe on top. To the right, a desk with various items is visible. In the foreground, the backs of several students sitting at their desks are visible.

授業者より

6 中学校授業実践 行動の選択肢の議論におけるアクティビティ



中学校実授業践 1



中学校実授業践 2

この後ご覧いただきます



7 研究内容の検証

授業後のインタビューより

Q 今日学んだことをこれからの生活にどのように生かしていきたいですか？



ほかの人の発言が自分にとってはこんな感じ方をするとか、また別の人にはこんな感じ方をするとか、**受け取り方がいろいろと違うことが分かったので、相手を想った返信をするのが大事だと思いました。**

自分は平気と思って使っている言葉もほかの人からしたら嫌かもしれないから、**ほかの人のことを考えないと自分の思った通りに伝わらないなと思いました。**





5 研究内容の検証

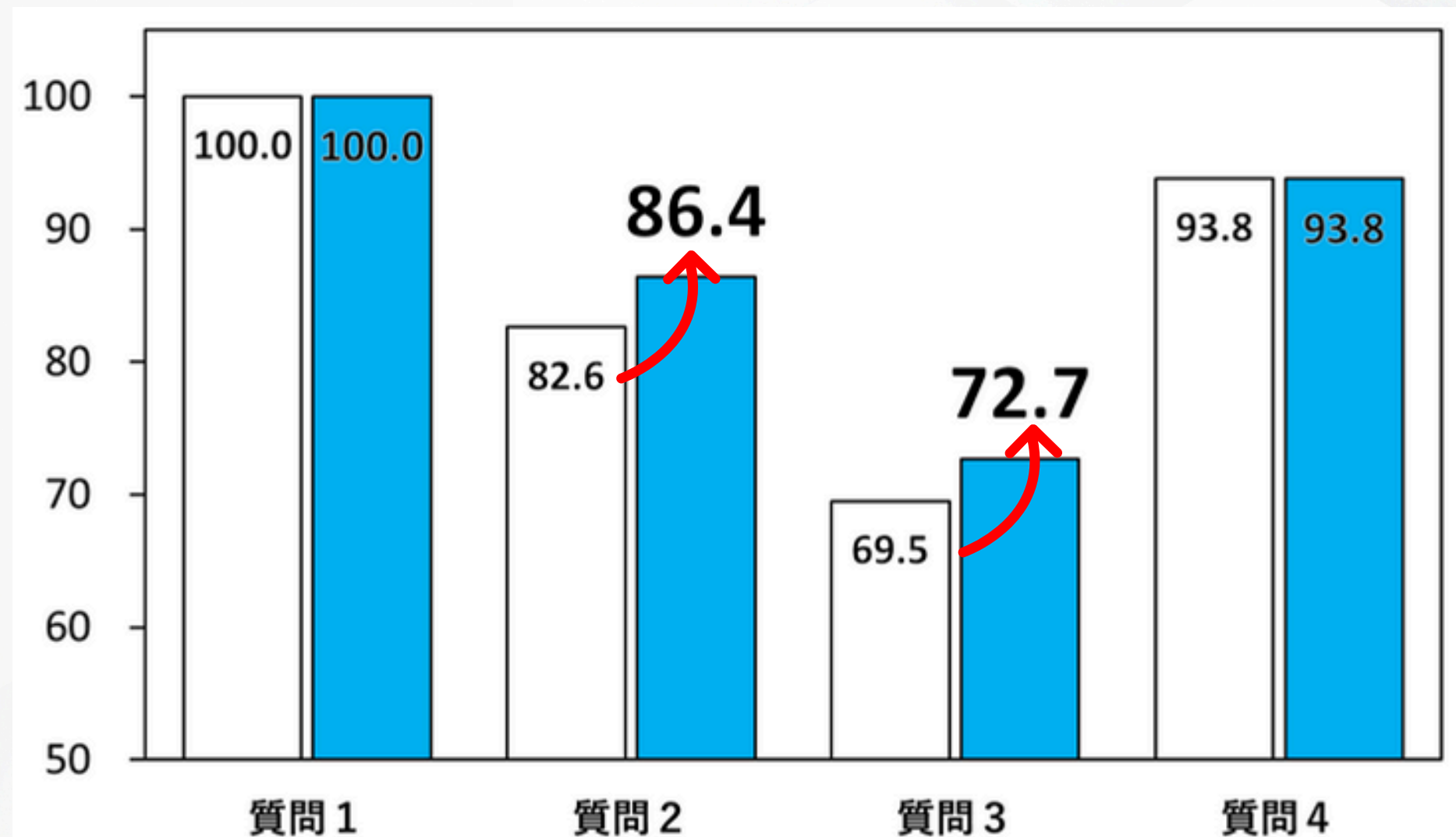
アンケート結果より



アンケート項目

- 1 普段の生活の中で、友達の意見や考えをしっかりと聴いている
- 2 普段の生活の中で、自分の意見や考えをしっかりと伝えている
- 3 普段の生活の中で、自分の行動を振り返っている
- 4 自分の行動を振り返って、次に生かしていますか。

肯定的回答（当てはまる・よく当てはまる）の割合



5 研究内容の検証 アンケートの理由記述・子どもの姿より



振り返ろうとは思わない
終わったことは終わったから、
振り返らない

事前



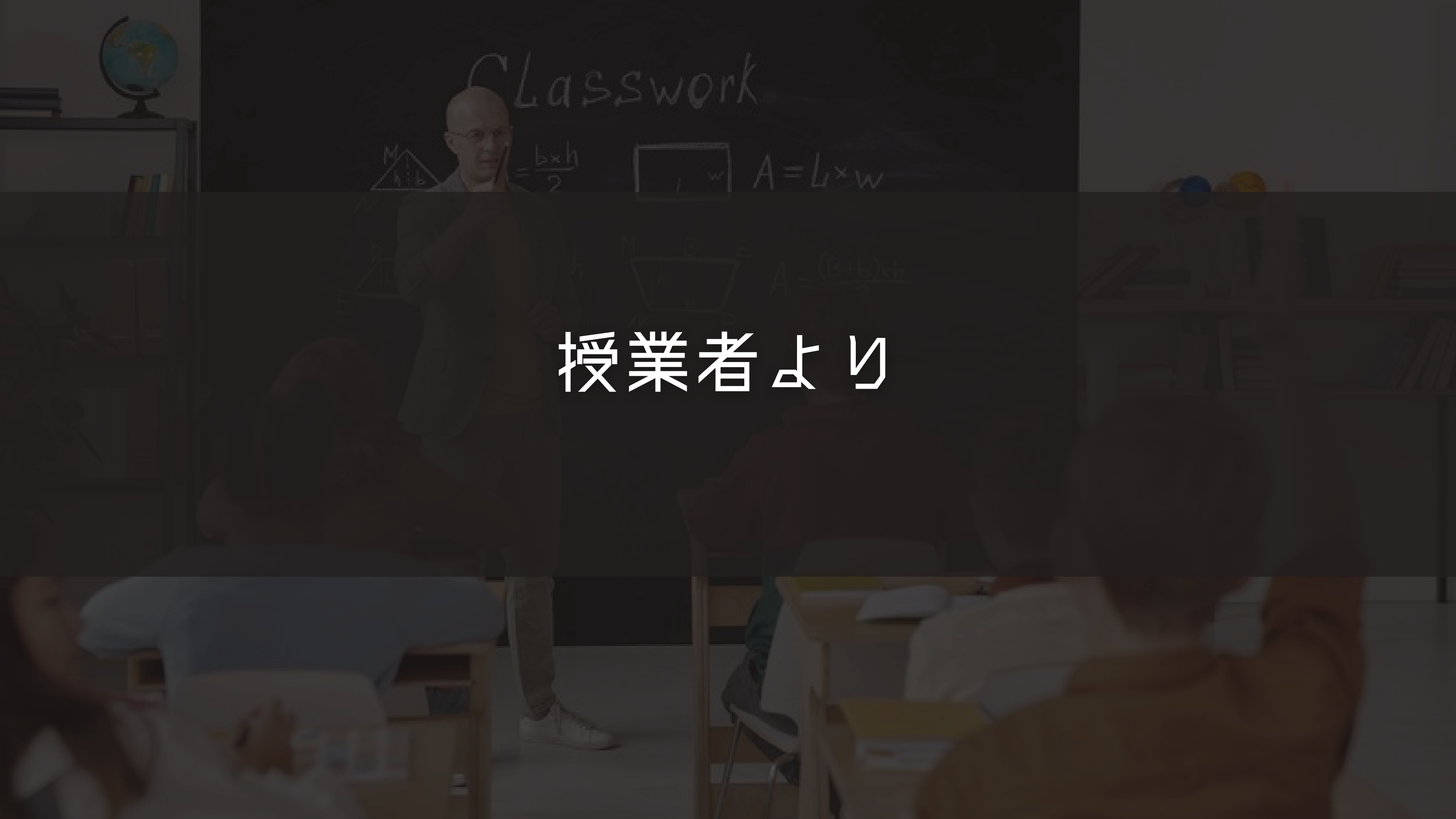
自分の行動を相手がどう感じて
いるかを振り返って次に生かしたい。
本当にその行動がよいかどうかを
考えて、インターネットを活用して
いきたい。

事後

気を付けるようになった
心掛けている

21人

27人

A photograph of a classroom scene, dimmed in the background. A male teacher with glasses and a grey suit stands in front of a chalkboard. The chalkboard is filled with handwritten mathematical formulas and diagrams. On the left, a triangle is labeled with 'M' at the top, 'h' for height, and 'b' for base, with the formula $A = \frac{b \times h}{2}$ next to it. In the center, a rectangle is labeled with 'l' for length and 'w' for width, with the formula $A = l \times w$ next to it. On the right, a trapezoid is labeled with 'M' and 'N' at the top, 'B' and 'E' at the bottom, and 'h' for height, with the formula $A = \frac{(B+b) \times h}{2}$ next to it. The teacher is holding a piece of chalk in his right hand. In the foreground, the backs of several students' heads and shoulders are visible as they sit at their desks, facing the teacher. The overall atmosphere is that of a traditional classroom setting.

授業者より



十勝教育研究所 協力員研究

I 研究の概要

II 授業実践の紹介

III 研究の成果と課題



IV 協議について



3 研究1年次の成果

意思決定

様々な意見や情報を踏まえ、
自分だったらどのような行動
をするか意思決定をする学習
展開

日常へ生かす

他教科の学習や休み時間、
学校行事等で学習したこと
を意識して過ごす姿が
見られた。

事前アンケート

実態に合わせた題材の設定

02

授業づくり



授業実践

新得小学校での実践

→ SNSの返信、動画へのコメント

共栄中学校での実践

→ グループLINE、投稿への受け取り方



作る際には…



実態を踏まえた題材

- ・今回は、およその実態を想定して考えてみましょう！
- ・ウェブ上にある教材等も活用して考えましょう！
- ・ゴールの意思決定をする姿を見通して考えましょう！



アクティビティ

- ・ウェブ上にある教材も活用して考えましょう！
- ・アクティビティを通して考えることを目的に
- ・経験のある子もない子も同じ土俵に上げるつもりで



交流→意思決定

- ・前向きな意思決定をできるようにします！
- ・他者の意見や感じ方等に触れ、自分の意見を再形成できるようにします
- ・日常でも、オンラインでも大事なものに触れると、この後の見取りに生きてきます。

作る際には…

HPへ

十勝教育研究所

[十勝教育研究所について](#) [研究](#) [ご案内](#) [刊行物](#) [情報提供のページ](#) [十勝応援サイト](#) [よくある質問](#) [お問い合わせフォーム](#)



研究＞R7協力員研概要ページ
＞研修講座 4 4

Ⅲ 授業実践

1 小学校授業実践

@@町立@@小学校 第6学年

授業者 @@ @@

1 題材

(2)イ よりより人間関係の形成

2 題材について

(1) 子どもの実態

。

(2) 題材設定の理由

。

(3) 各教科等との連携

3 評価規準

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価基準	日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの課題解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。

4 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
アンケートに記入する。	自身の生活を適切に振り返るよう知らせる。	アンケートを記入し、場面に応じた話し方について考えることが出来る。【思考・判断・表現】（アンケート） 日常生活の中でのすれ違いや誤解に関して、実感をもって考えている。 【思考・判断・表現】（記述）
アンケートの結果をまとめる。	アンケートの結果をまとめ、学級の実態をつかむ。	
国語科「なぜわかりあえなかったのだろう」 <u>（指導案別添）</u>	情報の受け取り方には、人それぞれ違いが生まれたり、誤解が生まれたりすることがあることを理解する。	

5 研究内容との関わり

(1) 研究内容 1

・事前アンケートから子どもの実態を把握した上で、題材の設定をしている。**事前の指導では、@@科と連携し、**子どもが自分事として捉えやすいよう、模擬的な活動を取り入れ、実感を伴う学習を設定している。

(2) 研究内容2

- ・。

- ・。

6 本時の展開

(1) 本時のねらい（目指す子どもの姿）

- ・。

- ・。

(2) 学習過程

[illegible]

さぐる		
展開 見つける	○。	□。
終末 決める	今後の自身の行動について考え、決定する。 ○ 今後の情報を発信する際はどのようなことに気を付けますか？また、普段の生活の中で伝え方について意識していくことはなんですか？	☆学習内容を振り返り、伝え方を前向きに考えていたか。【記述】

6 事後の活動

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・自分で立てためあてや取組について振り返る。 ・日常の中でも意識をする。	・世界中で見られる情報発信の向き合い方について考えるよう知らせる。 ・普段のやり取りの中でも、伝え方を意識していくことができるよう知らせる。	・友達の意見を参考にしながら、どのように生活に生かしていきたいかを考えて立てた具体的な目当てや実践方法に進んで取り組んでいる。(知識・技能)【観察】 ・学習発表会に関わる学習へ生かしている。【観察】

7 板書計画

03

まとめ・振り返り



ホームページもご活用ください

LINE公式アカウント始めました



十勝教育研究所 協力員研究
糸山 千葉